



国際航路協会 (PIANC)の活動

2022年3月8日

国際航路協会副会長、日本部会会長

岡田光彦



PIANCの概要

1. 性格
2. 設立
3. 会員
4. 組織
5. 運営
6. 委員会
7. 出版物



PIANCに参加する7つの理由

(出典 PIANC Webサイト <https://www.pianc.org/join-pianc>)



性格と設立

- 港湾、マリーナ、水路に対して、持続可能な**水上交通インフラについての提言や技術的助言を行う国際組織**で、非政府・非営利団体。本部ブラッセル
- 1885年に設立され、技術団体として最古の部類に属する
- 英語名 : The World Association for Waterborne Transport Infrastructure (PIANCは、旧名称であるThe Permanent International Association of Navigation Congresses(に由来)

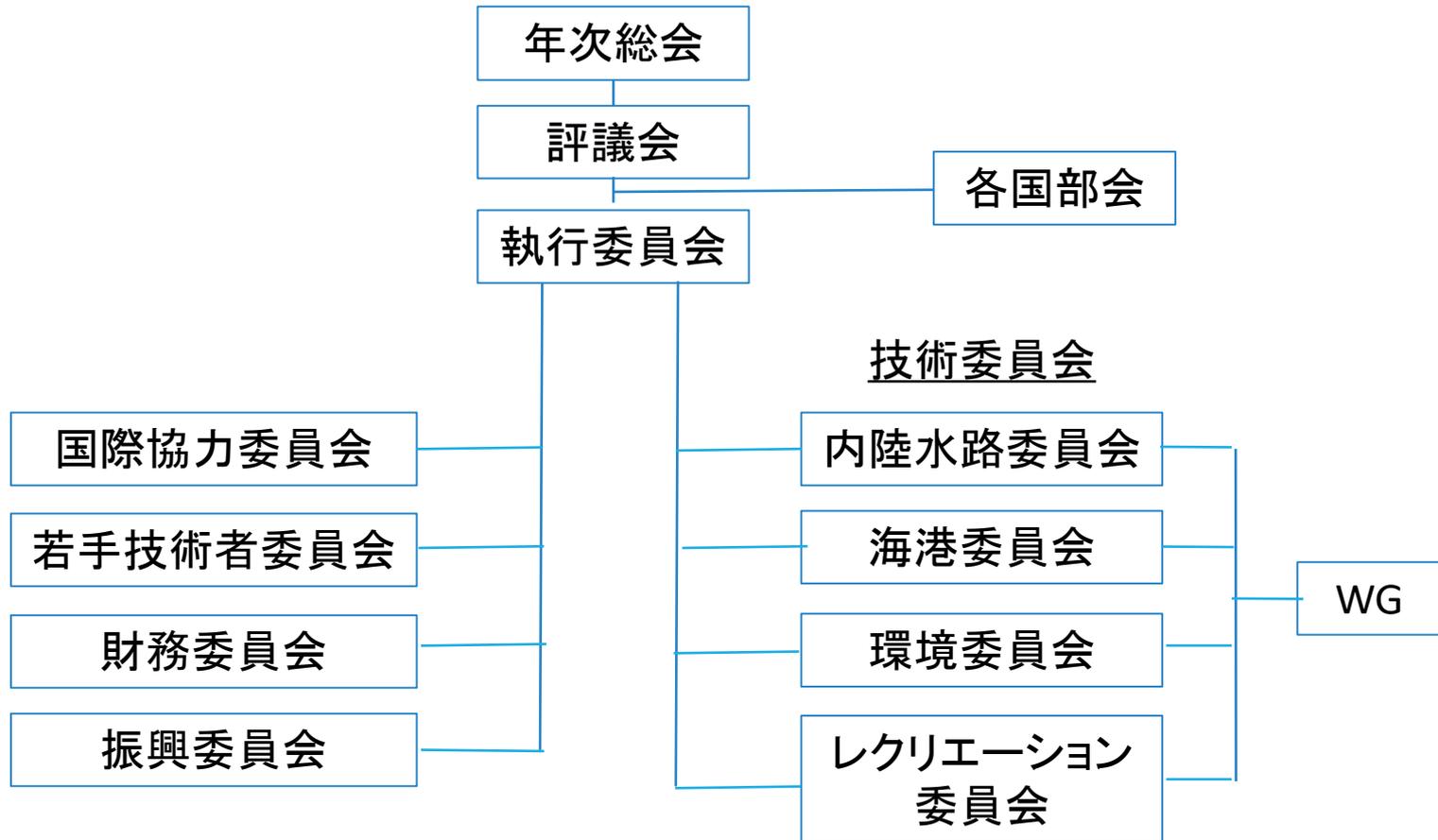


会員

- 66か国に会員を有する開かれた組織。法人会員約500社、個人会員約1,800人
- うち43か国では、政府、地方政府、民間企業などが **Qualifying Member** としてPIANCの運営において国を代表する資格を有する
- 日本の**Qualifying Member**は政府（国土交通省、農林水産省（政府代表は国土交通省港湾局長））
- Qualifying Member**は、国内会員の管理や地域活動を行う**National Section**を設立でき、現在27の**National Section**が存在



組織





運営(1)

● 国際航路会議 (International Navigation Congress: Congress)

- 通常4年毎に開催。全体会議、分科会、講演等
- 会員のみならず、非会員も臨時会員として参加できる
- 日本では1990年に大阪で開催



第27回国際航路会議(1990年・大阪)で皇太子殿下(当時)が「交通路としてのテムズ川」についてご講演
(出典 PIANC-Japan Webサイト <http://pianc-jp.org/about/index.html>)

● 年次総会 (Annual General Assembly: AGA)

- 国の代表等により構成される協会の決定機関
- 総会は加盟国の持ち回りで開催
- 日本では1978年東京、2004年福岡、2019年神戸で開催



運営(2)

●執行委員会(ExCom)および評議会(Council)

- 年次総会(AGA)における議案を審議する機関として、執行委員会(ExCom) および評議会(Council) がある
- 執行委員会は PIANC会長、4人の副会長、常設委員会委員長、事務局局長より構成。PIANCの活動方法、財政問題、人事等の重要事項は、執行委員会において審議
- 評議会は、執行委員のメンバーに会員国の代表各1名を加えて構成

●技術委員会

- InCom(内陸水路)、MarCom(海港)、EnviCom(環境)、RecCom(レクリエーション水路)、の4つの技術委員会が活動。

●FinCom(財務)、ProCom(振興)、CoCom(国際協力)、YPCo m(若手技術者)の4つの委員会がPIANC活動を支援



運営(3)執行委員会

会長



Francisco Esteban Lefler(スペイン)

(現在の構成) 欧州: 8、
アジア3、北米3、南米2

副会長



Nicholas Pansic
(米国)



岡田光彦
(日本)



Valerie Chabrier
(フランス)



Bumgou Kang
(韓国)

事務局長



Geert Van Cappellen
(ベルギー)

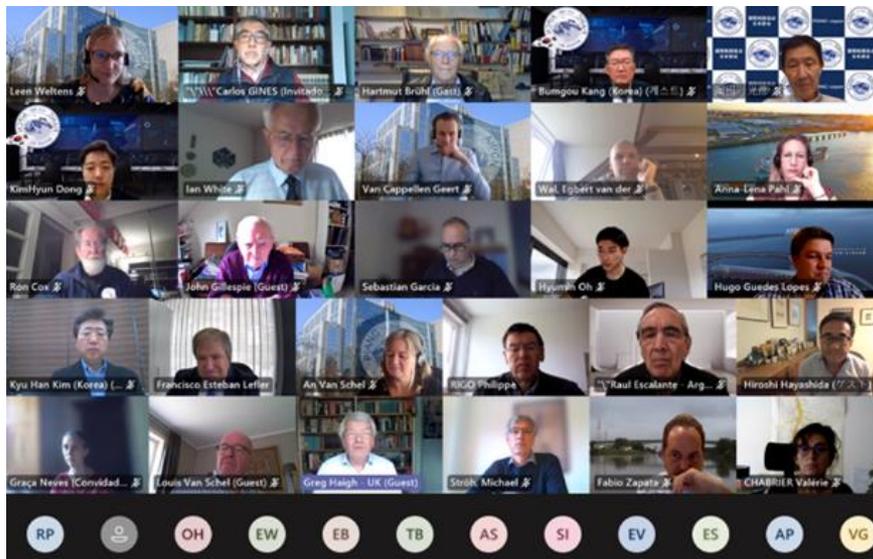
委員長

Egbert van der Wal (オランダ): MarCom、Philippe Rigo (ベルギー): InCom、Esteban Biondi (アルゼンチン): RecCom、Todd Bridges (米国): EnviCom、Mohammadreza Allahyar (イラン): CoCom、Abbas Sarmad (米国): CoCom、Ian White (英国): FinCom、Eslie Vrolijk (オランダ): YP-Com、Sebastian Iglesias (アルゼンチン): YP-Com、Anna-Lena Pahl (ドイツ): ProCom

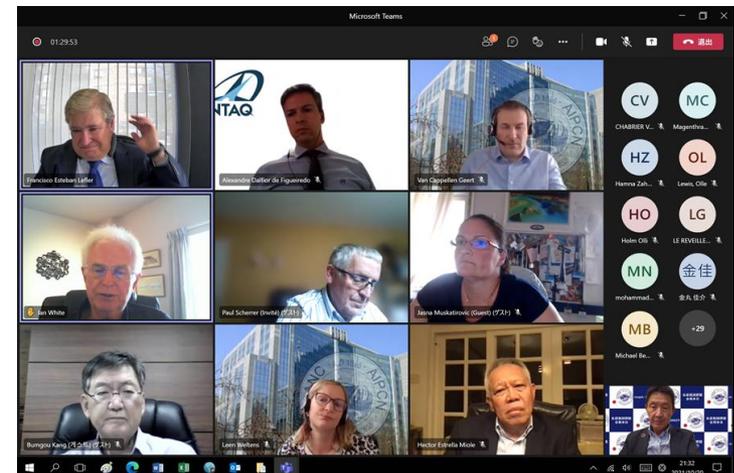


コロナ下の運営

- 2020年春以降のPIANCの運営、イベントは、基本的にオンラインにより実施
- 2020年の年次総会(英国ブリストル)は、2021年に延期した上でオンライン形式で実施



2021年年次総会



2021年評議会



技術委員会

- 4つの技術委員会(内陸水路委員会(InCom)、海港委員会(MarCom)、環境委員会(EnviCom),レクリエーション委員会(RecCom))
- それぞれ、特定テーマのWGを設置して技術レポートを作成、公表、レポートは技術的ガイドラインとして政府、企業、関係団体等に参照されている



InCom WG 198: Saltwater Intrusion Mitigation in Inland Waterways (2021)
July 28, 2021



EnviCom WG 195: An Introduction to Applying Ecosystem Services for Waterborne Transport Infrastructure Projects (2021)
April 12, 2021



InCom WG 197: Small Hydro Power Plant in Waterways (2021)
March 31, 2021



MarCom WG 208: Planning for Automation of Container Terminals (2021)
March 26, 2021

(出典 PIANC webサイト <https://www.pianc.org/publications>)



PIANC日本部会の概要

1. 設立
2. 会員
3. 組織
4. 運営
5. 活動



PIANCアジア地区125周年記念事業(2010年、名古屋)にご臨席
いただいた皇太子殿下(当時)

(出典 PIANC-Japan webサイト <http://pianc-jp.org/about/index.html>)



設立

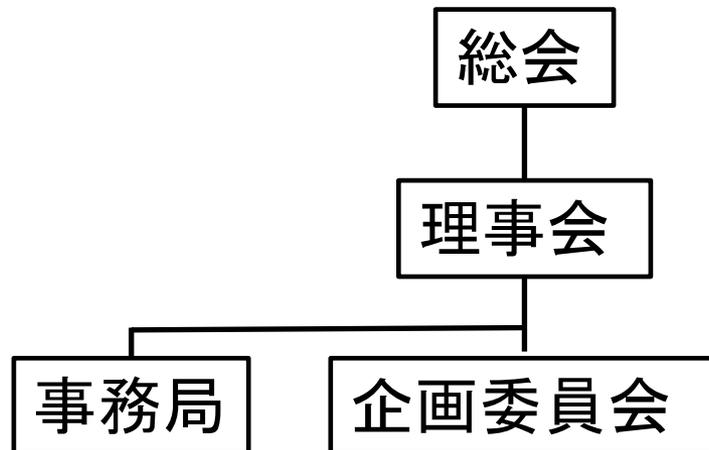
- 1952年、運輸省(現国土交通省)が政府会員としてPIANCに加盟
- 1965年、水産庁が政府会員に追加加入
- **National SectionとしてPIANC日本部会(PIANC-Japan)が1977年11月28日に設立**
- 1988年以来、7人の本部副会長が日本から選出



会員と組織

(令和3年3月31日現在)

- 団体会員 : 57
- 個人会員 : 105 (普通会員、学生会員 (30歳未満の大学生または大学院生))
- 組織



会長	岡田光彦
副会長	高野誠記 (国研) 港湾空港技術研究所 所長
企画委員長	佐々木規雄 国土交通省 港湾局 産業港湾課 国際企画室 室長
事務局長	鈴木勝



活動(1)

- PIANCが作成する**技術ガイドライン**に我が国**技術基準**をとりこむことにより、**海外インフラ展開**につながると認識

国土交通省インフラシステム海外展開行動計画 2021

相手国の課題解決に資する我が国企業の提案力の強化を図るため、我が国技術の優位性に関する検証を行うとともに、**国際航路協会(PIANC)等の国際機関との連携**を通じて我が国の**基準や規格等の国際標準化**を推進する。

- 技術委員会のWGに我が国官民技術者を派遣し、レポート作成に積極的に参画。**防舷材や航路、耐震設計、海洋石油ガスターミナルの基準**に日本の知見が取り入れられているほか、**津波に関するレポート作成を主導**してきた。

活動(2)

委員派遣中の技術委員会WG: 令和3年3月現在
赤字は議長を派遣

- 内陸水路委員会 3WG

内陸水運のための技術・生物学的河岸防災手法、港湾及び航路構造物の健全度診断、自然流下河川の持続可能な管理

- 海港委員会 14WG

海洋石油ガスターミナル、RoRo及びRoPax船用ターミナル、インフラ整備における施工者早期参加方式、港湾及び航路構造物の健全度診断、**軟弱地盤における防波堤の設計と建設**、コンテナターミナルの自動化、防舷材の設計ガイドライン、岸壁における船舶の許容動揺基準、海上多目的ターミナルの設計ガイドライン、漁港の計画、**港湾施設の耐震設計**、係船柱及びフックの選定・維持管理・試験、沿岸施設の検査・維持管理・試験

- 環境委員会 2WG

堆積土砂の有効活用、気候変動に関する常設特別検討委員会



(写真提供 MarCom樋口委員)



活動(3)

- 2019年年次総会を神戸で開催。技術セミナーを開催し、アジア・日本での技術的課題等について事例紹介・討論



(出典 PIANC-Japan webサイト <http://pianc-jp.org/news/2019/07/aga-2019-in-kobe.html#more>)



コロナ下の活動

- 2020年夏以降の活動は、基本的にオンラインで実施
- 2020年10月：第1回PIANC-Japanオンラインセミナー（200名参加、うち会員外40名）
- 2021年5月：第1回PIANCアジアセミナー（テーマ：沿岸防災、講師：日本、インドネシア、フィリピン。27か国から250名参加、うち会員外150名）



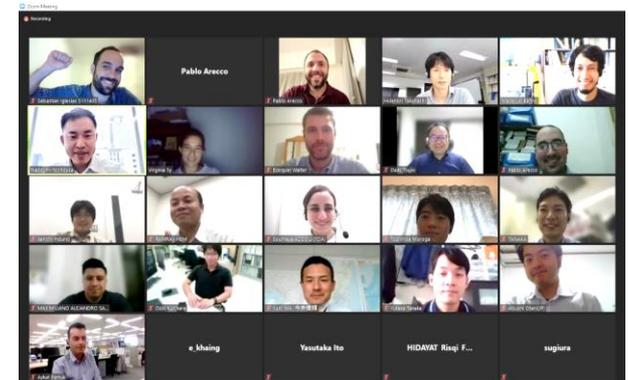
（出典 PIANC-Japan webサイト <http://pianc-jp.org/news/2021/05/pianc-15.html#more>）

- 2021年6月：オンライン特別講演会（会員向け）
- 2021年10月：第2回PIANC-Japanオンラインセミナー（200名参加、うち会員外70名）
- 2022年5月27日：第2回PIANCアジアセミナー（テーマ：持続可能な海洋インフラ、講師：日本、タイ、バングラデシュ）



若手技術者の活動

- 国内のYP会員を対象とするセミナー(会員外も参加可能)
- 洋上風力、インフラ維持管理、i-Construction、質の高いインフラ等、毎回テーマを設定して開催
- 2021年はオンラインで12回開催、平均40名参加。うち1回はアルゼンチンのYP会員との交流



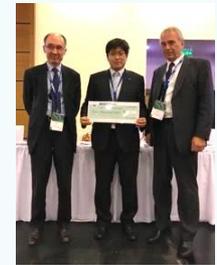
各国から神戸に集まった若手技術者(左)、アルゼンチンYPとのセミナー(中央、右)(写真提供日本部会YP-Com)

PIANC会員へのお誘い



本部

- 国際航路会議(Congress) への出席、**国際航路会議に対する論文の応募**、PIANC Magazineに対する論文等の投稿
- **De Paepe-Willems賞 (DPWA) 論文への応募**(会員または団体会員に所属する者で40歳以下の者に限る)
- **WGLレポートの無料ダウンロード**
- Sailing Ahead (本部Newsletter) の配信



(出典 PIANC-Japan webサイト <http://pianc-jp.org/news/2018/06/pianc-10.html#more>)

日本部会

- **日本部会主催のセミナー等の行事への参加**
- 日本部会News Letterの配信、出版物の配布
- **内外の技術者とのネットワーキング**
- **日本部会若手技術者委員会への入会、活動(40歳以下の方)**

PIANCに入会するには



- PIANC及びPIANC-Japanに入会をご希望の方、団体は、国際航路協会入会申込書に必要事項を記入の上、メール又はFAXにてPIANC-Japan事務局までご連絡下さい
 - 入会申込書ダウンロード：<http://pianc-jp.org/memberinfo/index.html>
 - e-mail : info@pianc-jp.org
- PIANC本部への入会手続きは、PIANC-Japan事務局より行います。



ご清聴ありがとうございました

PIANC本部 <https://www.pianc.org/>

PIANC日本部会 <http://pianc-jp.org/index.html>

PIANC日本部会若手技術者委員会 <http://pianc-jp.org/ypcom/index.html>